

令和5年8月1日発行

若狭熊川宿まちづくり特別委員会

福井県三方上中郡若狭町熊川
TEL/FAX (0770) 62-0330



熊川宿ホームページ <https://kumagawa-juku.com>

鯖街道 熊川宿



4年ぶり復活！ 白石神社祭礼 賑やかに

～ 令和5年5月3日(祝・水)／熊川区・白石神社 ～

白石神社祭礼の起源は、江戸時代中期から神社殿の屋根葺き替えと上屋の新築に際し、熊川の上・中・下ノ町それぞれに山車を出したことから始まりました。

その後、飢餓や焼失を経ながらも1台が昭和38年まで出されていましたが、山車の老朽化と人手の減少から、トラックを山車に使ったり、神輿を出したりして引き継がれ、平成13年に文化庁の「ふるさと文化再興事業」により山車と見送り幕を復元しました。

見送り幕は元々3枚あり、現在、県指定の有形文化財として若狭歴史博物館に保管されています。その内の1枚「綴織百子遊戯図」が、子どもたちの健やかな成長を願って復元されました。レプリカですが山車とセットで数千万円といわれ、豪華絢爛で一見の価値があります。

祭礼はコロナの影響で3年間山車の巡行を控えてきましたが、今年は神輿と囃子を巡行しました。宵宮では拝殿で子どもたちと青年による囃子が奉納されました。祭礼当日は、熊川児童館前の街道に見送り幕とともに山車が展示されました。

午前中の神事に続き、午後から山車上でお囃子の奉納、その後、神輿と囃子の区内巡行が行われ、久しぶりに祭りの賑わいを見せていました。子どもたちも最後まで元気に楽しめました。

目次

白石神社祭礼賑やかに.....	1
寄稿文.....	2
お店紹介・事業報告・事業計画.....	3
研修報告.....	4
活動報告・NEWS・話題.....	5・6

無理をせず、長く続けられる活動を

令和5年度熊川区長 常 畑 昭 彦

日頃は熊川区行政にご理解ご協力を賜りありがとうございます。

さて、3年間にわたる新型コロナウイルス感染症拡大の大きな波がようやく収束し、以前の暮らしが戻りつつあります。

熊川宿においても少しずつ観光客が訪れ、土日を中心に賑わいや活気の兆しが見られます。区の行事も小規模ながら、少しずつ行えるようになってきました。

例えば、未曾有の新型コロナウイルス感染症は、この3年間で感染者の集団接種は6回を数えます。医療従事者の方々には心より厚く感謝申し上げます。

感染拡大の波が収まり、新型コロナウイルスが5類に移行したとはいえ、ウイルスが無くなった訳ではなく、

この先また大きな波が来るのでは、と懸念されます。

熊川宿は行事やイベントが年間を通して数多くあります。この3年間、その多くが中止を余儀なくされました。

しかし、それを前向きに捉え、行事やイベントのあり方、実施方法を見直すよい機会になったと考えます。

そしてこれからは、無理をせず、長く続けられることを行なっていきたいと思えます。

また、熊川宿ではこのところ、新聞・TVやラジオ・情報誌などマスコミ各社による取材や報道が増えています。熊川宿ホームページのリニューアルにも取組み、今後、観光客はもとより交流人口の増加やインバウンド観光増が見込まれます。

近くでも陽性者が発生したり、再び急拡大している県もあり、



La Festa Primavera 2023



白石神社祭礼 山車上で雛子奉納

ケースバイケースで感染対策を行い、安全で安心してご来訪いただき、情緒ある町並みを楽しんでいただくとともに、区民の皆さんが暮らしやすい熊川区を目指して行きたいと思えます。

熊川宿のひなまつり・山内かぶらちゃんの会活動

若狭町山内 飛 永 恭 子 (写真左端)

ペースがあり、絵画や写真、陶器等の展示や熊川いっぽく時代村ポスター展も開催して、地元住民を始め観光客の方々にも立ち寄ってもらえる場所づくりを展開してまいりました。



そのような中で、子供が大きくなり、家に眠っている雛人形をこの場所に飾って多くの人たちに見てもらえたらお雛様もうれしいのではないかと、また熊川宿に飾ることで少しでも賑わってもらえたらと思いい、雛人形の展示を行いました。そして2年後、宮本会長さんと相談し寄贈という形で引き継いでいただくことになりました。

熊川宿に雛人形を飾り始めたきっかけは、私が役場を退職後、平成30年4月から若狭町生涯現役促進地域協議会での活動事業でした。事業内容は、生涯現役社会を目指す、年齢に関わりなく働くことができる場所を作り、熊川の光水画廊において、地元で採れた野菜や果物、海産物、パンなどの販売をしてい

ました。そこには展示スペースがあり、絵画や写真、陶器等の展示や熊川いっぽく時代村ポスター展も開催して、地元住民を始め観光客の方々にも立ち寄ってもらえる場所づくりを展開してまいりました。

その後、私は母と交代で山内かぶらちゃんの会に入り、かぶら作りを教えてもらいました。令和4年4月には「いっぽく処かぶらちゃん」がオープンしました。年間を通してお弁当やコロッケ、餃子づくりを始め、春は菜の花が

終わったらマスタード用の種の刈取り、9月に種まき、食育にも力を入れており毎年鳥羽小3年生が種まきに来てくれます。収穫は11月から2月末までで、11月には収穫祭を開催しています。

最近では、(株)デキタと協働で商品開発した粒マスタードや熊川と関わりのある菊乃井店主の村田氏に監修いただき完成した「干しかぶらの実と葉が入ったつぼ漬け」が出来ました。今後も山内かぶらを使った新たな商品開発を会員みんなで知恵を出し合って、生涯現役100歳を目指して、健康で楽しく活動していきたいと思っています。是非、伝統野菜山内かぶらを食

アンケートによる

お店紹介

- ①お店を始めようと思われたきっかけは？
②熊川宿の印象は？ ③おすすめ商品は？

① 沢山の方のご縁があり、令和5年1月にオープンさせていただきました。福井県の観光スポットの一つである熊川宿に散策に来られた方々に楽しんでいただけたらと思っています。

② 以前「熊川いっぶく時代村」に出店させていただいたことがあり、情緒あふれる町並みで、地元の方々が大切に保存活動をされている素敵な場所だと感じました。

米パン工房 coneru

③ 自家栽培のコシヒカリを使用した米粉パンに地元の食材を使用したメニューを取り揃えていますのでぜひお立ち寄りください。



2023
1/21
OPEN

◇プロフィール

業種：米粉パン屋
所在地：若狭町熊川16-18(上ノ町)
営業日：土・日曜日
営業時間：AM11:00～(売切れ次第終了)
TEL 0770-62-4030 FAX 0770-62-4031
Instagram : k_coneru

3/28

令和4年度最終
熊川宿まちづくり委員会

近田区長のお席をいただき、令和4年度最終まちづくり委員会が開かれました。

【主催者挨拶】

近田区長・令和4年度の区事業等の概要を報告

宮本会長・熊川宿とその周辺自然環境(熊川城跡など)の活用内容を報告

西村顧問・荻野家住宅の保存と活用、地域おこし協力隊の活動報告会の紹介

令和5年度 若狭熊川宿まちづくり特別委員会 事業計画 (R5.7)

- 5月 8日 第1回 まちづくり役員会
5月20日 ツーデーマーチおもてなし
5月22～24日 全国伝建協議会総会・研修会(兵庫県丹波篠山市)
- 5月26日 熊川宿伝統芸能保存会
6月 2日 第1回 まちづくり委員会
6月 6日 熊川宿街路灯清掃(関電送配電)
6月17日 ホタル観賞と陶の灯りの夕べ(主催：熊川宿はたる生息研究会)熊川地区地域づくり協議会)
- 7月 1日 七夕飾り
8月 1日 若狭町伝建地区保存審議会
8月 1日 町並み通信第47号発行
8月14・15日 街かど陶の灯り展(陶の灯りの会)
- 8月15日 納涼盆踊り(熊川区)
9月 第2回 まちづくり委員会
9月25日 文化庁調査官と語る会(今庄宿)
9月27日 文化庁調査官による現地指導
10月1日 第24回 熊川いっぶく時代村(熊川いっぶく時代村実行委員会)
- 10月13～15日 第46回 全国町並みゼミ(北海道小樽市)
12月 第3回 まちづくり委員会(令和6年)
- 2月 1日 町並み通信第48号発行
2月 熊川宿まちづくり総集会
2月上旬～3月中旬 熊川宿のひなまつり
3月 令和5年度 最終まちづくり委員会(随時・当面する活動・協力)
- ・若狭町・近隣のまちづくり研修・交流会などに参加
 - ・熊川宿紹介のマスコミ・情報誌への対応
 - ・伝統的建造物の保存修理への協力
 - ・宿場内の清掃・整備
 - ・西山稲荷～展望尾根周辺の環境整備
 - ・ふくい城巡りプロジェクトへの参画
 - ・熊川城跡・熊川トレイルへの誘客PR
 - ・熊川地区ランドデザイン・若狭アドベンチャー・ツーリズム等と連携・協力
 - ・移住・出店・空き家提供希望者への支援
 - ・一般社団法人・出店者との連携・協力
 - ・エリア開発会社(株)クマツグに対する支援(各部会活動)
 - ・空き家対策・活性化・広報・町並み対策

【来賓挨拶と報告】

総合政策課 奥村主査・熊川地区ランドデザイン推進事業に基づき実施したサイン整備、熊川宿駐車場の街路灯設置

観光商工課 西村課長 補佐・新幹線開業を見据えたアドベンチャー・ツーリズムの拠点整備(河内川ダム湖周辺)



熊川宿HPリニューアル完成の経過報告、今後の予定、運営経費の説明

【議題】

各種団体の加盟継続と、北陸新幹線敦賀延伸を見据えて観光コンテンツの充実を図る観点から「美めぐりふくいプロジェクト協議会」への参加報告

歴史文化課 岡本学芸員・荻野家関連事業、異動に伴うお礼

(株)デキタ時間代表・加工場付イベントスペースKIKUYA、熊川葛加工場の増設、明神湖での水上アクティビティ、山座熊川のキャンプ場の進捗状況とオープンに向けた今後の取組み

【まちづくり事業報告】

一年間の活動をまとめた動画を放映し、町へ提出の文化財補助事業報告書で事業報告、まちづくり会計・町並み保全協力金会計決算を報告し承認

令和5・6年度のまちづくり組織について、役員・委員の継続と委嘱

最後に質疑や意見をお聞きし閉会しました。コロナも収まり来訪者も増えつつある一方で、空き家問題など多くの課題が山積する中、みんなで協力しながらこの難局を乗り越えていきたいものです。

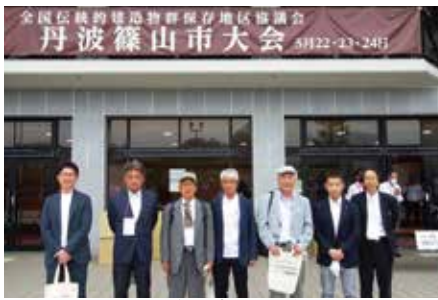
第45回全国伝建協議会総会・研修会 丹波篠山市大会

とき…令和5年5月22日(月)～24日(水)
 ところ…丹波篠山市立田園文響ホールほか
 参加者…熊川宿から7名
 報告…宮本哲男

伝建地区の住民も参加しての総会・研修会は4年ぶりになります。

今回の開催地となった篠山市へは平成28年3月に、空き家対策の先進地研修に(一社)NOTEさんへ寄せていただきました。また平成31年2月にも、熊川宿おもてなしの会が、集落「丸山」で研修・宿泊の体験をさせていただきました。

今回の大会では、菅前総理が特別基調講演したほか、兵庫県内5市の「首長サミット」、郷土芸能鑑賞と情報交換会、現地視察研修、住民による事例発表とパネルディスカッション、文化庁講評などがあり、まちづくりの大いに参考となりました。



若狭町・熊川宿からの参加者



総会



現地視察研修

初日は、京都橘大学教授から20年後の伝建地区の人口減少を踏まえた維持について、文化財の積極活用についてお話があり、菅前総理の特別講演では、官房長官時代に集落丸山視察を振り返り、「古民家再生は地域の歴史や文化の保存継続、地方創生に極めて重要、文化財の保存から活用への転換により一層の力を入れる必要がある」と強調されました。

首長サミットでは、神戸、豊岡、養父、たつの、丹波篠山市の市長らが、それぞれの重伝建地区の現状や課題について意見交換されました。

三階建て養蜂農家の主屋群「養父市大屋町大杉地区」は伝建選定

を受けた翌年の平成30年2月に、教育委員会と守る会の皆さんが熊川宿を研修され、まちづくりや自主防災活動、空き家対策、人材育成などについて意見交換させていただきました。



山鉦巡行



子ども語り部

その後の取組みについて、興味深くお話を聞かせていただきました。

夕方から郷土芸能を鑑賞し、情報交換会では郷土料理や地ビールをいただきました。次回開催地の長野市戸隠から挨拶がありました。

◇ ◇ ◇

2日目、篠山の伝建地区を視察させていただきました。電線類が地中化されたことにより、およそ110年ぶりに鉾山の「鉾」が復活し子どもたちも協力して巡行されました。景観が大きく変わったことに驚きました。

篠山小学校の児童も大きな声で元気いっぱいにクイズで説明し楽しく盛り上げてくれました。

神戸大学黒田名誉教授による伝建地区の近未来と課題について講義の後、次年度開催地の長野県戸隠、篠山市の福住、篠山、そして金沢市東山ひがし地区の住民の皆さんによる事例発表をお聞きしました。

金沢東山ひがしの皆さんは令和4年10月に防災関係の取組みを視察いただきました。時間がなく十分な意見交換ができませんでしたが、今回のプレゼンで市内にある茶屋町としての諸課題についてお聞きすることができました。

文化庁梅津調査官から総合的な講評をお聞きしました。「それぞれの地域には色々な課題はあるが、人口減少や高齢化は共通の課題で、地域の方々と新しい方々の協力で、まちづくりが止まることなく変化に対応していることは凄い。国としてもしっかりと支援していく」と締めくくられました。

◇ ◇ ◇

研修会は2日で失礼し、福住には寄せていただけませんでした。この総会を通じて改めて文化財の活用を通じた活性化が重要と感じました。

令和5年1月

2/5~
3/19

熊川宿のひなまつり

(熊川宿まちづくり委員会)



協力依頼を区内全戸に広げ、熊川宿の街道からご覧いただける場所へお雛様を飾りました。店の間の擦りガラスを交換したり、ご家族で飾っていただき、23軒30組が飾られました。一部のお宅では夜のライトアップも楽しみました。「店の間に雛飾りたる宿場町」
倉谷 茂氏作

2/13

日本遺産鯖街道バスツアー

(熊川宿まちづくり委員会対応)



日本遺産「御食国若狭と鯖街道」の認知度向上を目的に、モデルコースを造成し、大学生の皆さんに商品化の課題などの提言を頂き、今後の可能性を探るモニターツアーです。熊川宿に加え周辺の自然環境を活用したアクティビティなど、幅広い観点でお話しさせていただきました。

2/15

NHK-BS1「家康腰掛けの松」登場

(NHK-BS1「ミアム」)



「英雄たちの選択」家康絶体絶命!「金ヶ崎の退き口」の「真実」が放映され、「家康腰掛けの松」が紹介されました。1570年4月20日、信長の朝倉攻めに加勢した家康は、途中、熊川の得法寺に一泊し、境内の松の木に腰かけたときから、その根元が残っています。

2/19

「クマ川さん」の着ぐるみ完成

(若狭町・楳クマツク)



熊川地域のマスコットキャラクター「クマ川さん」は、イラストレーター石田智也さんが考案。熊川宿から河内川ダム周辺で整備が進められているアクティビティを広く発信することを目的として今回着ぐるみが制作されました。トレーニング衣装もあり、今後の活躍に注目です。

2/20
21

宮島からまちづくり視察

(若狭町・熊川宿まちづくり委員会対応)



厳島神社の周囲に栄えた門前町「宮島」からまちづくり推進室の皆さんが視察に來られ、20日は熊川宿の視察、21日はまちづくり委員会の活動について説明しました。行政と民間団体との役割分担や自主防災、空き家対策など幅広く意見交換させていただきました。

3/20

熊川宿HP英語版公開

(若狭町・熊川宿まちづくり委員会)



今後のインバウンド観光を見据えて、小浜市・若狭町日本遺産活用推進補助事業で、熊川宿HPの英語版、観光組合発行の散策マップ英語版、名所に設置のQRコードから閲覧できる説明ウェブサイトが制作され、完成しました。今後、中国語版、韓国語版も制作予定です。

3/21

倉見屋荻野家文書講演会

(若狭町・荻野家応援団)



若狭町歴史環境講座として開かれました。倉見屋荻野家文書(近世編)は、若狭路文化研究所所長多仁照廣先生の指導を受け、熊川宿古文書研究会の皆さんが中心となって、翻刻や目録整理、解説が進められたものです。講演では、調査報告書の発行と共に、古文書が持つ意義や、古文書から伺える当時の様子やポイントをまとめられた興味深いお話をしました。

3/27

地域おこし協力隊活動報告会

(若狭町)



(株)デキタを拠点に熊川宿と若狭町の活性化に取り組んでいるお二人が報告されました。堀氏は、空き家の活用や熊川マルシェの運営、森の宿泊施設の開発について。野尻さんは、若狭町の地域産品や生産者とコラボした商品開発や販売について。

4/24

La Festa Primavera 2023

(若狭町・熊川区など対応)



約60台のクラシックカーが6年ぶりにやってきました。今年には北陸新幹線敦賀延伸の機運を高めようと、北陸から敦賀を経由して来られました。熊川宿では歴史的な町並みにクラシックカーが映え、熊川小の全学年の児童たちが参加者へのおもてなしをしてくださいました。



6/2

熊川宿まちづくり委員会

令和5年第一回

(熊川宿まちづくり委員会)

常畑区長、宮本会長、西村顧問の挨拶に続き、若狭町担当各課、(株)デキタの時岡代表から近況報告がありました。続いて令和5年度のまちづくり組織、事業計画、予算案等を承認いただきました。新規移住者やUターンの方の加入もあり、2年間の任期と協力をお願いしました。



5/28

マルシェダンス・センチュリーライド

(熊川区・熊川宿まちづくり委員会協力)

熊川マルシェとキッズダンス、若狭センチュリーライドが開催され、約千二百名の皆さんが熊川宿に来られました。ロードバイクの皆さんは、安全面の配慮から街道内を降車して歩いていただきました。キッズダンスは9チームが踊り、ゲストさんが素晴らしいダンスを披露されました。



5/20

若狭三方五湖ツーデーマーチ

(若狭町)

1日目の20キロ、30キロの鯖街道コースに参加の皆さんが熊川宿を訪れました。熊川区や女性の会、まちづくり委員会のメンバーが葛湯のおもてなしを行いました。また休憩所を盛り上げるためPAをセット、曾我廻家福輔さんのMCで楽しいトークが繰り広げられました。



6/17

ホタル観賞と陶の灯りの夕べ

(主催：熊川宿ほたる生息研究会・熊川地区地域づくり協議会)

ピオトープのある熊川陣屋跡地で初めて開催され、地区内外から多くの方が集まり、バザーやフォークバンド「おっさんず」のミニコンサートで盛り上がりました。暗くなった20時頃から多くのホタルが舞い始め、陶の灯りを道案内に河内川流域でも楽しむことができました。



6/11

「ポットン」でやまびいさん放映

(テレビ朝日系列)

日曜夜の人気番組「ポットンと一軒家」が、熊川宿を通過して河内を捜索されました。番組では、松岡喜一さんの人生ストーリーとともに、なつかしい明神谷のマス池や河内集落、そして河内川ダム、リフレステやまびいなどが放映されました。現在では研磨炭にも取り組んでおられます。



6/6

熊川宿の街路灯清掃

(関西電力送配電(株)協力)

小浜事業所の皆さんとまちづくり役員で、伝建地区内に25基ある自立型街路灯の内点検と清掃を行いました。関電の「地域感謝月間」として毎年6月に実施しています。橋上や脚立が使えない場所は高所作業車で清掃、皆さんで丁寧な作業いただき大変きれいになりました。



7/1

七夕飾り付け

(熊川宿まちづくり委員会)

雨予報が出ていましたが天候に恵まれ、屋外で行う事が出来、区民の皆さんの願いを込めた短冊や飾り物をみんなで楽しく飾り付けました。今回は小振りな真竹を使い、道路以外にも取付けてみました。また観光客や宿場館へ入館された方にも声かけし短冊を作ってもらいました。



6/20

町並み保存連盟理事長が来訪

(若狭町・熊川宿まちづくり委員会対応)

全国町並み保存連盟で編集中の「歴史的町並み・集落憲章」解説版に関連して、福川理事長と山本事務局長が来訪され、熊川宿や周辺開発の取組みを視察されました。6月4日には全国町並み保存連盟の通常総会が東京都内で開催され、熊川宿からもZoomで参加しました。



6/18

都市環境デザイン会議

(若狭町・熊川宿まちづくり委員会対応)

同会議は様々な分野で携わる方々が集い、ネットワークの構築や情報交換等の組織として1991年に設立されました。今回はエクスカーションとして熊川宿の視察が行われ、宮本会長からまちづくりに関して、永江館長から周辺の歴史的背景について、時岡代表から空き家や自然環境を活かした取組みを説明しました。